

平成27年6月 9日

独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場長野支場

一粒の牧草の種が、日本の畜産を支えます！

～大型コンバインによる種子の収穫が始まります～

長野支場では、国内で品種改良された優良な牧草品種の種子の収穫作業を下記のとおり行います。

我が国の気候条件に適した国内で育成された品種は、海外で育成された品種に比べて病気に強く、収量が多い、栄養価が高いなどの優れた点があります。当场では、畜産農家が「高栄養・高収量・高品質」な飼料を自ら生産してもらうため、牧草品種の増殖用もと種子（国内販売される種子のもとになる前世代の種子）をできるだけ多く低コストで生産できるような調査・研究を行いながら努力しています。雄大な景色の中で育まれる小さな一粒の種が、日本の畜産を支えているのです。

牧草が風で波打つ広大な草地の中を、大型のコンバインが収穫を行うダイナミックな風景は、佐久の初夏を彩る風物詩の一つです。

取材のご希望がありましたら、【お問い合わせ先】まで、お気軽にご連絡下さい。

記

日 時： 平成27年6月12日～7月上旬 ※

場 所： 家畜改良センター 茨城牧場長野支場 場内採種ほ場

内 容： イタリアンライグラス他のイネ科牧草種子の収穫

※ 収穫の日程は天候などに大きく左右されることから、収穫のタイミングは直前（当日になることも）に決まります。取材を希望される方には、日時が決まり次第出来るだけ早くご連絡致しますが、多くの場合直前の連絡となることをご了承願います。



大型コンバインでの収穫作業（イメージ）

【お問い合わせ先】

長野県佐久市新子田2029-1

独立行政法人

家畜改良センター茨城牧場長野支場

担 当 者： 種苗業務課

（土方ひじかた 川口 曾和）

電話番号： 0267-67-2501

F A X： 0267-68-4743

U R L： <http://www.nlbc.go.jp/nagano/>

「日本の畜産 改良と技術で守ります」

(参考)

1 収穫予定の概要

- (1) 対象作物：イタリアンライグラスなどのイネ科牧草（8品種）
- (2) 収穫面積：合計 12.8ha（東京ドーム2.7倍の広さ！）
- (3) 収穫予定量：約7.6トン

2 牧草種子の増殖体系について

当场で生産及び検査証明を終えた「もと種子」は、世界的に有名な牧草の採種国であるアメリカ、カナダなどへ輸出され、さらに増殖後、日本に再輸入されます。その後、種苗業者を通じて畜産農家に販売され、乳牛や肉牛などに給与される粗飼料生産に利用されています。

牧草の多くは、コメ、小麦などの自殖性作物とは異なり他殖性作物であるため、他品種と容易に交雑し品種の持つ優れた特性が失われる恐れがあります。このため当场では、OECD（経済協力開発機構）の定める牧草種子品種証明制度、およびISTA（国際種子検査協会）の定める国際種子検査規程に基づいた検査（ほ場・種子、植物体の検査）を実施しており、国際基準に適合した高品質なもと種子の増殖を行っています。

